

Data Report

● 2013 年(平成 25 年)北海道のゴルフ場数

160 コースを下回る？

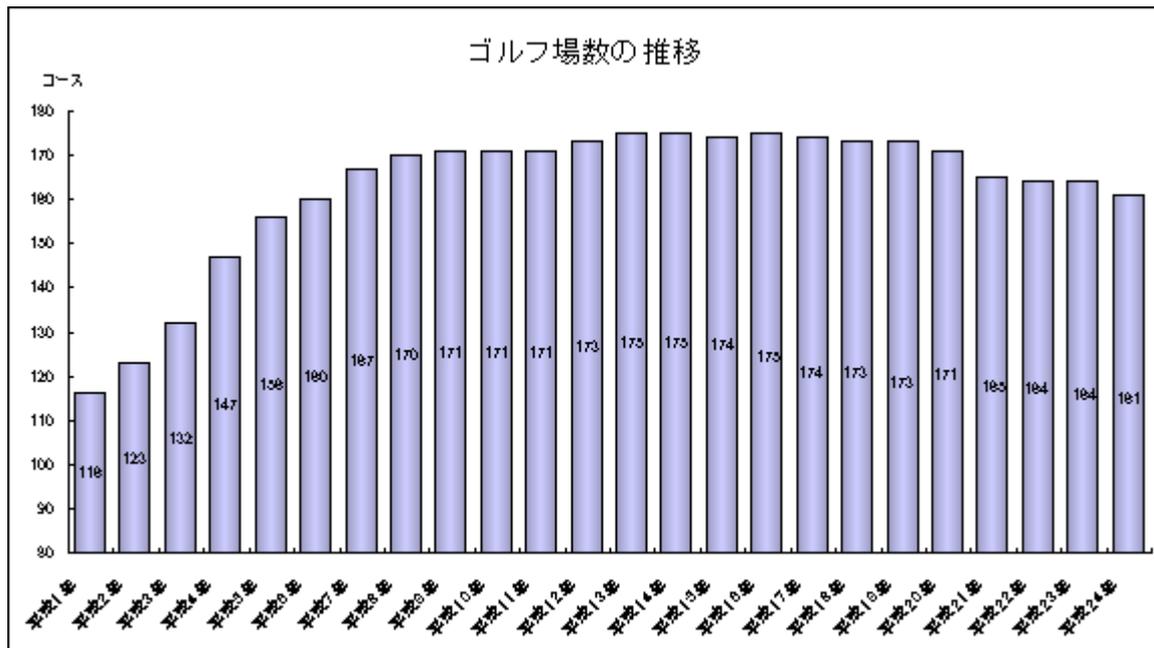
2013 年 6 月 5 日

道内のゴルフ場は平成 20 年に 171 コース、平成 21 年に 165 コース営業していた。その後、留萌 CC、イアン滝川 GC が閉鎖したが、羽幌 GC が再開して 164 コースで推移していた。

平成 24 年は恵庭 GC、コ・リーナ・デルナ GC、ユニオンジャク GC の 3 コースが休場して 161 コースが営業していた。

今季 5 月末現在、札幌つきがた GC、アーレックス GC、SIR ル・ペタウ GC、トーヤレイクヒル GC の 4 コースが営業していない。

25 年度は 160 コースを下回る情勢だ。最終的に何コースが営業するのだろうか。



■札幌つきがた GC

今季から営業しておらず、譲渡先を探している。ゴルフ場の経営会社は(株)札幌つきがたゴルフ場で、母体会社は(株)アイックス。

関係者の話では、昨年末から複数の買い手候補と交渉してるが先月に道内企業 1 社が交渉決裂、残る企業と現在交渉を続けている。譲渡価格はそれほど高額ではないとのことだが、約 1000 名いる預託金会員の権利義務を引き継ぐ、という条件のハードルが高そうだ。6 月初旬に何らかの結論が出るかもしれない、とのこと。

■アーレックスゴルフ GC

5月26日の月例競技を最後に、従業員や会員には全く事情を説明せずゴルフ場を閉鎖している。すでに、「アーレックスを守る会」というFacebookサイトがある。

突然の閉鎖はリース会社がカートを引き上げたため営業できなくなったとのこと。昨年からは業界内では経営危機との噂が流れていたが、本当の事だった。

一季出版社の取材によると、アーレックスゴルフ倶楽部のオーナーである齊藤氏(株)パー七十二プラザ 代表取締役会長)は再開に向けてリース会社と交渉中。同時にゴルフ場の運営引継先も探している、とのこと。

■トーヤレイクヒル GC

5月7日よりコース改修、施設改修のため休業している。25年度は営業しない模様。

ホームページによると、「4月24日よりオープンをしておりましたが、コースの改修、施設改修のため25年度は一時休業することとなりました。」とのこと。ただ、関係者の話では「総合リゾート建設に向けて…」とは言っているものの、一度オープンしてから改修とは理解できない、とのこと。

■SIR ル・ペタウ GC

当初4月27日のオープン予定だったが「コースコンディションを万全にするために7月1日にオープンする運びとなりました。」とのメモをゴルフ場入り口に貼っている。

ル・ペタウ GC は、平成18年(株)ハートランドが民事再生法を申請して以来、経営が市川造園グループ(死亡事故発生)、(株)太陽、(株)ASKグループと転々とした。

ASKグループは都市開発などを行っており、一時期はジャスダックに上場したこともある。その謳い文句は、「北海道千歳で約80万坪のゴルフ場を取得いたしました。今後、ゴルフの他に近郊の観光施設とも相乗効果を生み出すインターナショナルリゾートを計画しております。」というもの。昨年は、石狩川江別 GC 運営会社の(株)オールスリープロジェクトが現地運営を行って、飛躍的に入場者数を伸ばし、利益もそれなりに上げた実績がある。そんな状況の中で、今年は直営で運営するそう。

なお、北海道リンクス CC は5月2日にようやくオープンした。

特別清算手続き中の美明三笠総合開発(株)について、(株)BBI(尹貞淑代表、大阪市)をスポンサーとした協定案が4月24日、札幌地裁より認可決定確定を受けた。ところが翌25日、(株)BBIが撤退し、急遽これまで運営を行っていた北海道リンクス(株)(高山和夫代表)が昨年同様引き続き運営することとなった。認可決定確定を受けた後にスポンサーが撤退という、前代未聞のオープンで、6月に入っても支配人が決まっていない。